

舞台監督研究室



発行 舞台監督研究室 2022年4月21日 第2号

付き合い方について

岩戸 堅一

年齢は皆同時に重ねていきますので、先輩はいつまで経っても先輩のままです。勿論後輩もいつまでも後輩のままです。逆転することはありません。舞台監督としての先輩・各セクションの先輩・業界の先輩・人生の先輩など多々あるのです。

自分がまだ若く、大道具や演出部時代に監督をしていた方は、勿論今となっては舞台監督の先輩にあたります。その先輩方をどのように観察してたのか？だと思います。いろいろな方がいました。殴り合いの喧嘩をした監督もいましたし、あまりにも何にもしていない監督が打ち上げの席で偉そうに講釈を垂れているのに腹が立ち「おめえ～なんにもしてね～じゃねえかよ！」と雪駄を投げつけたこともありました。

しかし、その度に思うのです。ああ、もし私が舞台監督になったら雪駄を投げつけられないような監督を目指そうと。

さて、先輩への指示の出し方ですが、勿論今でも60～70代の方々とご一緒することもあります。以前は監督をされていましたが今となってはその責を背負うのに疲れ、セカンド若しくは兵隊でいいという方もいらっしゃいます。

もと監督というだけあって私の気づかないこともフォローしてくださったり、ものの成り立ちやロープの管理の仕方やバインド線の保管の仕方などまだまだ盗むべきスキルは存分にもってらっしゃるのでなるべく見て学ぶようにしています。

少し本題と外れましたが、「お願いの仕方」に関して言いますと語尾に「～お願いしてもいいですか？」と付け加えるだけで「はいよ！」となるはずですが、もし、ならない場合はそもそもその人間関係ができていないので一緒に作品作りは難しく、頼まなければ良いことです。指示といえば何だか命令に等しい雰囲気になりますので、あまり自分で指示をだしていると感じない方がいいのではないのでしょうか。

例えば(その1)

本来次はこれをやりたいと思っているけどどうまく切り出せない…そんな時は…「～さん、これ一緒にやってもらえませんか？」と作業を一緒に行きます。ここポイント！作業をしている間に情報を伝えます「これ、何時までの稽古で使いたいんデスヨネー」「色はあとでいいので形だけでもあればいいのですが…」などなど。情報を渡して作業が少しすすんだところで鳴ってもいない電話をポケットから取り出し「はい、

もしもし…」と電話に出てその場所を離れます。あとは暫く経って戻ってみれば出来上がっています。

例えば(その2)

撤去作業でみんながバラシをしているのに黙々とロープをまとめている方がいるとします。心の中では「今そんなことをしていないでバラシを優先に…」と書いていてもいざトラックへ積み込む段になってみれば、そのときに資材がまとまっているのは大変助かるものなのです。なので、その方もバラシ時間を逆算して自分にできることを無理のない範囲で率先してやってくださっていると考えると演出部の一員としての戦力になってきます。

勿論座組みは考えなければなりません。みんながロープを纏めていればバラシは終わりませぬので。

例えば(その3)

休憩時間にみんなで食事を共にすることがあります。今ではそんなことは少なくなってきたかと思いますが、食事や飲み会の支払いは監督がするものというのもこの業界の習わしの一つにあると感じています。飲み会に参加する監督は半分は出すもの・あるいは全額持つんだよ！ってのが私の育ってきた環境ではありました。飲めない監督は「んじゃこれでみんなでいってきて」とポケットマネーを出してくれませぬ。それは単に監督のほうが少し他の助手よりは良い賃金であるという意味もありますが先輩方への感謝も含めて出させていただきますという感覚です。

アルバイトとの関係

さて、バイトくんです。これは付き合い

つぶやきコーナー

会合の報告だけでなく、メンバー以外の方も含めて舞台監督職務に関する論考を載せるような『舞台監督研究室』であってもよいと思うが。

そしてそれは舞台監督に限る必要もないと思う。いろいろな方たちからコメントをいただきたいものである。

舞台監督は現場に張り付いていることが多い生業なので、原稿を寄せるのも大変な作業となるだろうが、「場」というのはそれだけで一つのエネルギーとなるので、何とかならないかと勝手に思っている。他にそのような場ができるなら、それに吸収合併されてもよい。

とはいえ、舞台監督協会はかしらがクソなので相手にしないが。

私自身はコロナにビビりまくっているし、もう賞味期限切れなので、心ある人にかき回してもらいたいものである。

注：我々が履いているのは正確には雪駄とはいえない。しいて言えば表ビニール裏ゴム草履と言ったところか。だいぶ以前から雪駄と定着しているので、まあいいんだけど。

(つ)

方も含めてどの程度までバイトくんにお仕事を頼むのが正解なのか？ってところから話していきます。

まず、バイトの仕事の範囲。これはみなさんそれぞれ今までの付き合い方もありますので一概には言えないところもあると思いますが、私としてはバイトくんは「荷物を運ぶ」だけにしています。これは気をつけなくてはいけないことがひとつあります。トラックから下ろす場合と下して運ぶ場合と仕込み中に運ぶ場合など、同じ運ぶという作業でも内容が違ってくるといことです。そういう感覚を持っていれば必然的に関係性も構築できて仕事もやりやすくなってくると思います。

トラック作業との関係でいいますと、まずトラックから荷物を下ろす場合や積み込む場合のトラック荷室での作業は基本的にバイトの作業ではありません。トラックのゲートから荷物押さえなどで乗せることはしません。勿論ゲートの操作もさせません。よってトラックから荷物をゲートの下まで持っていく、その先を運んでもらう。また、撤去の時はトラックの側までは持ってきてもらい、そこから先はプロのスタッフの仕事になります。

運搬については、アルバイトは10人頼んだとして・リーダー1名(たまに管理を主に行っていて、手数としては成立していない場合もある)、よく見る顔2~3名(主にアルバイトだけで生計を立てている人~30前後の収入あり)、初めて見るけど出来そうな人2~3名(動きを以って判断します)、初めての人3~5名(何を言われているのか理解できない人、言葉すら理解できない人)。この人たちがうまく活用して道具を組み立てたり資材を運んだりしなければなりません。

まずはアルバイト全体のバランスを見て「できそうな人」を見つけて、そのできそうな人たちを軸に手下を配置します。そしてできるなら舞台監督助手の中から仕込み・撤去時に捌く人を割り当て 全体的な命令系統を作成します。

つまり、監督→助手→バイトリーダー→新人くんと、無理な体勢で荷物を運んでいないか・捌き場所は養生をしているのか・他の機材等に注意して運んでいるかなどなど注視しておきます

返答の重要性を説く。馬鹿に威勢のいい方もいらっしゃいますがほとんどはか細い声の持ち主です。荷物の受け取りなどの時に必ず確認のためにも返答は相手に聞こえる声でと徹底しましょう。

また、バイトではありますが私は個人的に「お手伝いさん」と自分の機嫌のいい時はそう呼びます。「おい！バイト！」って荒れた声で指示をしている方も大道具さんや・照明さん・

勿論監督さんもいらっしゃいますが、流石に雰囲気かわるくなるのでなるべく「お手伝いさん」と呼んでいます。



『舞台監督読本』税込み 1,100 円
全国書店、Amazon にて発売中
舞台監督研究室でも取り扱っております

制作との関係

たまにこっそりチョコをあげると喜びます。お弁当は必ず持って帰りましょう。そして一言こころを込めて「おいしかったよ」これでもうメロメロです。

他セクションとの付き合い方

近からず遠からず。稽古場に挨拶もしないで入ってくるスタッフ(プランナー)などは向こうから挨拶するまで無視します。「まだ資料もらってないだよねえ・・・」などと遠くから聞こえてきてもまだ無視です。ようやく本人が近くに寄ってきて「よろしくお願ひします〇〇です」ここで初めて気づいたフリをします。

そうです、戦いは稽古場に入ってくる時から始まっています。勿論これは初めましての場合です。私は極度の人見知りなのでこんなつれない対応になってしまいます。

舞台監督はいつ仕事をするのか

これは悩ましい問題です。勿論稽古場では稽古開始の掃除に始まり稽古終了後まで・・・。一番の対策として電話は切っておきます。私はiPhoneですがナイトモードなどにして22~6時の間は電話には出ない設定にしています。勿論前もってズームなどの打ち合わせがある時は対応しますが。

まあ、物理的なことは置いておいてなるべくきっちりオンとオフを切り替えられる様にします。稽古場での転換などはお任せして自宅に持ち込まないよう時間の配分をします。

なのでテンプレートはあればあるだけ時間短縮になります。2.5 日明け初日・3.5 日明け初日などの大雑把なタイムテーブル。消防申請のテンプレート。精算書・配車・荷下ろし表・申し送り書などなど。事務仕事はなるべく早めに終わらせる様に心がけて、なるべく芝居稽古を見る様にしています。

最近の監督さんはパソコンばかり見ている、ときには 3D の舞台装置を作成したりしています。もし 3D が必要ならばそれは美術の範囲だと思います。転換でそこまで必要になってくるのは余程のバトン仮設なり、なにか他の要因がなければ必要ありません。そんなもの作る時間あるならもっと稽古を見なさいと言いたいですね。(終)

情報コーナー

☆事業復活支援金(経産省 HP 要チェック)

☆『千と千尋の神隠し』全国巡演中

☆朝倉展 4月16日~6月12日 神奈川県立近代美術館葉山

6月26日~8月14日 練馬区立美術館

—編集後記—

今号は先日の会合に出席できなかった方の考察を掲載することにしました。ほかにもコメントを寄せていただいたものがありますので、順次掲載できればと思います。まだ個人の製作ですので、すべての責は編集子にあります。(み)